

室礼三千 山本三千子

春夏秋冬の生命のリレーが  
実を結ぶとき。

伝統と今、昔人と自分、  
あの世とこの世。

時空を超えて結び合う

「室礼」が現代に華開く。

室礼

結

日程 平成二十二年十月三十一日(日) 十時～十七時

場所 紀尾井町「福田家」

入場料 一万五千円

「結」の室礼展示  
福田家謹製松花堂弁当  
大鼓演奏 大倉正之助



はるか縄文の時代より、春夏秋冬の巡りは、  
それぞれの生命を輝かせ、  
再び大地に帰してきました。

私たちの祖は、その自然への感謝の心を  
形に表わし、やがて形は年中行事となり、  
日々の暮らしに根付いていきました。

現在伝わる年中行事には、  
祖が長い年月育んできた信仰や神話などが  
結び合い根幹をつくっています。

年中行事は民族の象徴であり、祖の誇りでした。

「室礼三千」は、四季おりおりの行事を行なうことにより  
昔人と自分を結ぶ一本の縄の存在を実感し、撚り合わせ、  
日本人の美しい心を未来に結んでいきたいと考えています。

本年は南宋瓶華四世・田川松雨先生の十三回忌にあたります。  
師である先生に最初にお目にかかりました時、  
先生は一枚の盆に野菜や果物を盛っておられました。  
その美しさ、力強さ、命の輝きに、全身が震え、  
入門のお許しを頂いたのは二十数年前のことです。  
そのご宗家が大変に深いご縁を頂いて参りました  
料亭「福田家」様のご協力を得て、この秋  
行事の奥に潜んでいる真なるコトを立てたいと思います。

ご多用中と存じますが、

〈室礼「結」〉にどうぞお出ましくございますよう  
宜しくお願い申し上げます。

室礼三千 山本三千子



### 室礼

稔りの感謝(菊の間)

月見・冬至・田の神

人生の通過儀礼(葵の間)

誕生・七五三・結婚・華甲・長寿の祝

縄文(田舎家)

祖霊(松の間)

昼食・大鼓演奏(菊の間)

## こころをカタチに

井崎正治 ●木工作家  
大倉正之助 ●能楽囃子大倉流大鼓奏者  
加藤千尋 ●美術作家  
神山易久 ●陶芸家  
松岡正剛 ●書  
山田 実 ●(株)龍村光峯  
田川昌穂  
折形デザイン研究所  
芝居茶屋 新日屋  
紀尾井町 福田家  
表面写真◎安井進  
制作進行◎日下部朋子 / (有)ジェイクラブ

[日程] 平成22年10月31日(日) [10時~17時]  
[会場] 紀尾井町「福田家」  
東京都千代田区紀尾井町6番12号  
[入場料] 15,000円 観覧・昼食〈福田家謹製松花堂弁当〉・  
大鼓演奏〈大倉正之助〉  
[お問合せ・お申込] 室礼三千 03-3304-7020 10時~17時(日・月休業)

## 室礼 結

FAX送信先 〇三―五三七四―〇八六八

### 室礼「結」参加申込書

〔お名前〕

〔申込人数〕

名

〔電話番号〕

〔FAX番号〕

〔メールアドレス〕

〔チケット送付先住所〕

〔勤務先名〕

〔昼食希望時間〕

- 十一時~十一時四十分
- 十二時五十分~十二時三十五分
- 十二時五十分~十三時三十分
- 十三時四十五分~十四時二十五分
- 十四時四十分~十五時二十分

いずれかに○をつけてください。  
なお食事時間については  
ご希望にそえない場合もございます。  
つきましては事前にご連絡をいたしますが、  
あらかじめご了承くださいませ  
ようお願い申し上げます。